

下水処理場の未利用エネルギー有効活用による歳入増加策（愛媛県松山市）

取組概要

松山市中心部の下水処理を担う中央浄化センターで、下水汚泥の処理過程から発生する可燃性ガス(消化ガス)を用いて発電を行い、国の「再生可能エネルギー固定価格買取制度」を利用して売電を行うもの

人口 515,183人

(平成28年7月1日現在)

担当 下水道施設課

取組の効果

- ・今後20年間は毎年1億2千万円以上の収益
- ・導入に要したイニシャルコスト5～6年程度で回収
- ・CO2削減効果:約2500トン/年



消化ガス発電設備全景

創意・工夫した点

既存設備に合せた運転制御システムの構築と運転管理上でのシミュレーション実施による最適運転の実現

他団体へのアドバイス

コスト比較を十分に行い、こういったシステムを採択するかが重要



見学案内説明用パネル